

REFRESH & RENEWAL

ハイレン リフレッシュ システム

環境配慮型 塗り替え工法

ハイレンリフレッシュシステム

ハイレンリフレッシュシステムは、従来の塗り替えシステムと異なり、特殊樹脂を採用した高機能の塗り替えシステムです。
クラックなどによる旧塗膜の劣化を短期間の工期で「よりハイレードな美しさによりみえさせます。」

ハイレンリフレッシュシステム



下地適応性: 弾性系塗材の塗り替えの他、各種既存塗膜の下地調整に適しています。
下地追従性: 特殊アクリルゴム樹脂をバインダーとして使用しているので、微弾性を有してクラックを生じません。
クラック充填性: 下地の軽微なひび割れ(ヘアークラック)等の充填性を持っています。
工程削減: フィラー機能とシーラー機能を併せ持ち、シーラーが不要です。
作業性がよく工程・工期の短縮ができ、経済性に優れています。

従来の仕様



外 壁

W-T仕様

環境配慮型仕様

溶剤系樹脂塗料と比べ臭気も少なく、作業環境・周辺環境の改善が図れます。上塗材は良好な作業性を備えており、旧塗膜に直接塗装することもできます。

弱溶剤系上塗材

弾性アクリルシリコン樹脂塗料(弱溶剤・1液)

ハイレントップTS

弾性ポリウレタン樹脂塗料(弱溶剤・2液)

ハイレントップTU

高機能下塗材

ハイレンビダンセイ

旧塗膜

外 壁

W-G仕様

完全水系仕様

上塗材に架橋系樹脂塗料を使用していますので、従来の水性塗料と比べ、耐久性・耐水性・耐アルカリ性に優れており、環境配慮と高品質の塗膜を提供します。

水性上塗材

弾性ポリウレタン樹脂塗料(水性・1液)

ハイレントップGU

高機能下塗材

ハイレンビダンセイ

旧塗膜

軒 天

N-TK仕様

環境配慮型仕様

耐候性に優れ、臭気も少なく、幅広い温度条件の下で施工が可能な、良好な作業性を備えております。

弱溶剤系上塗材

弾性アクリルシリコン樹脂塗料(弱溶剤・1液)

ハイレントップTK

旧塗膜

鉄部・その他

E-T仕様

環境配慮型仕様

耐候性に優れ、臭気も少なく、作業性も良好な塗料で、鉄部やコンクリート、モルタル対応の仕様です。

弱溶剤系上塗材

弾性アクリルシリコン樹脂塗料(弱溶剤・1液)

ハイレントップTS

弾性ポリウレタン樹脂塗料(弱溶剤・2液)

ハイレントップTU

旧塗膜

外 壁

微弾性厚塗り・ 環境配慮型仕様 W-TU仕様 M工法

ハイレントップTU →
(J19-90B)

ハイレンビダンセイ →

旧塗膜 →



微弾性薄塗り・ 環境配慮型仕様 W-TS仕様 R工法

ハイレントップTS →
(J19-75D)

ハイレンビダンセイ →

旧塗膜 →



微弾性厚塗り・ 完全水系仕様 W-GU仕様 M工法

ハイレントップGU →
(J22-85B)

ハイレンビダンセイ →

旧塗膜 →



微弾性薄塗り・ 完全水系仕様 W-GU仕様 R工法

ハイレントップGS →
(J22-90D)

ハイレンビダンセイ →

旧塗膜 →



- M工法** - 旧塗膜の上に多孔質ローラー(マスチックローラー)を使用して、新しいパターンで仕上げる工法です。(厚付け仕上げ)
- R工法** - 旧塗膜の上に中毛ローラー(ウールローラー)を使用して、既存のパターンを復元する工法です。(薄付け仕上げ)

軒 天

環境配慮型仕様 N-TK仕様

ハイレントップTK →
(J25-90B)

旧塗膜 →



鉄部・その他

環境配慮型仕様 E-TU仕様

ハイレントップTU →
(J15-30F)

環境配慮型仕様 E-TS仕様

ハイレントップTS →
(J15-30F)

旧塗膜 →



※ ()内の番号は日本塗料工業会の塗料用標準色見本の色番号です。

工法別仕様一覧

共通工程(下地処理)

- サンダー、皮スキを用いて既存塗膜の浮き、ふくれ、脆弱部を除去する。
- 高圧洗浄にて汚れ、ほこり、ゴミ、劣化塗膜を除去する。
- 水洗面は乾燥させる。
- 既存塗膜の段差を同一模様になるようにハイレンビダンセイで補修する。
- シーリング面は必要に応じてプライマー処理をする。
- 付着に不安がある塗装面にはプライマー処理をする。
- 鉄部は錆を取り、必要に応じて錆止め塗料を塗布する。

部位別工程

外壁

工 程	工法・仕様	塗 材	施工用具	調 合	所要量 (kg/m ²)	塗装回数	次工程間隔
下 塗	R工法	ハイレンビダンセイ	ウールローラー (中毛ローラー)	塗材:16kg 清水:0.4~0.8ℓ	0.3~0.5	1	夏: 4時間以上 春・秋: 4時間以上 冬: 16時間
	M工法	ハイレンビダンセイ	マスチックローラー (多孔質ローラー)	塗材:16kg 清水:0.1~0.4ℓ	0.8~1.1	1	夏: 16時間以上 春・秋: 16時間以上 冬: 16時間
上 塗	W-TU仕様	ハイレントップTU	刷毛・ローラー・ スプレー	主剤:12kg 硬化剤:2kg シンナー:0~3ℓ	0.3~0.4	2	夏: 3時間~3日 春・秋: 5時間~5日 冬: 8時間~5日
	W-TS仕様	ハイレントップTS	刷毛・ローラー・ スプレー	塗料:15kg シンナー:0~3ℓ	0.3~0.4	2	夏: 3時間以上 春・秋: 5時間以上 冬: 8時間以上
	W-GU仕様	ハイレントップGU	刷毛・ローラー・ スプレー	塗料:16kg 清水:0~2.4ℓ	0.3~0.4	2	夏: 2時間以上 春・秋: 2時間以上 冬: 4時間以上

軒天

工 程	工法・仕様	塗 材	施工用具	調 合	所要量 (kg/m ²)	塗装回数	次工程間隔
上 塗	N-TK仕様	ハイレントップTK	刷毛・ローラー・ スプレー	塗料:15kg シンナー:0~3ℓ	0.3~0.4	2	夏: 3時間以上 春・秋: 5時間以上 冬: 8時間以上

鉄部・その他

工 程	工法・仕様	塗 材	施工用具	調 合	所要量 (kg/m ²)	塗装回数	次工程間隔
下 塗	鉄部:弱溶剤系さび止めプライマーを塗布する。 その他:付着が不安な場合はハイレンBNプライマー、可塑材のブリードの可能性がある場合はシールベースPを塗布する。						
上 塗	E-TU仕様	ハイレントップTU	刷毛・ローラー・ スプレー	主剤:12kg 硬化剤:2kg シンナー:0~3ℓ	0.3~0.4	2	夏: 3時間~3日 春・秋: 5時間~3日 冬: 8時間~5日
	E-TS仕様	ハイレントップTS	刷毛・ローラー・ スプレー	塗料:15kg シンナー:0~3ℓ	0.3~0.4	2	夏: 3時間以上 春・秋: 5時間以上 冬: 8時間以上

材料一覧

品 名	分 類	入り目	使用希釈剤
ハイレンビダンセイ	微弾性下地調整塗材	16kg	清水
ハイレントップTS	弱溶剤系弾性アクリルシリコン樹脂塗料	15kg	ハイレンプラスTU
ハイレントップTK	弱溶剤系弾性アクリルシリコン樹脂塗料	15kg	ハイレンプラスTU
ハイレントップTU	弱溶剤系弾性ポリウレタン樹脂塗料	A液／B液＝12kg／2kgセット	ハイレンプラスTU
ハイレントップGU	水性弾性ポリウレタン樹脂塗料	16kg	清水
ハイレントップS	溶剤系弾性アクリルシリコン樹脂塗料	A液／B液＝10kg／5kgセット	ハイレンプラスS
ハイレントップF	溶剤系弾性フッ素樹脂塗料	A液／B液＝8kg／4kgセット	ハイレンプラスF
NTハイレン	単層弾性防水形外装薄塗材	24kg	
ハイレンU	アクリルゴム系弾性主材	20kg	
ハイレンB	アクリルゴム系弾性主材・模様吹き材	20kg	
ハイレンプラスTU	ハイレントップTS／TU用希釈剤	12.7kg	
ハイレンプラスS	ハイレントップS用希釈剤	14kg	
ハイレンプラスF	ハイレントップF用希釈剤	14kg	
ハイレンプライマー	溶剤系下地調整プライマー	15kg	
ハイレンプライマーK	水性下地調整プライマー	15kg	
ハイレンBNプライマー	溶剤系万能プライマー	1kg	
シールベースP	溶剤系ブリード防止プライマー	1kg	

 は当サンプル帳でご覧になれます。

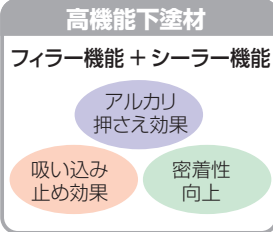
マンションから戸建住宅まで幅広く適応し、
高品質な仕上がりで、建物の資産価値を高めます。

下地適応性

さまざまな既存塗膜への適性があり、煩わしいシーラーの選定が不要です。特に、ハイレントップが用いられた既存塗膜へは全て適応性があります。

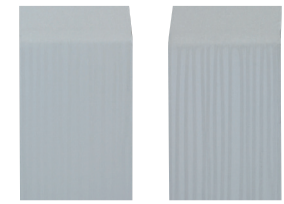
※フッ素塗料、シリコン塗料の下地は除きます。ご相談ください。

対応製品 ハイレンビダンセイ



超低汚染性

耐汚染性に優れたセラミック成分の配合により雨筋汚れが付きにくく、長期にわたり美しい外観を維持します。



ハイレントップTS 汎用樹脂塗料

対応製品 ハイレントップTS

防水性

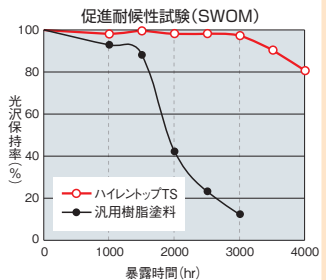
建物にとって水分の侵入は大きな劣化原因となります。ハイレンリフレッシュシステムは造膜性に優れ、外壁からの雨水等の侵入を遮断し、極めて高い防水効果を発揮します。



対応製品 全製品対応

高耐久性

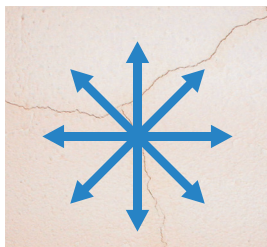
太陽熱・紫外線・雨水・凍結等から長期間にわたって建物を保護し、変褪色や脆化、塗膜の破断・亀裂・剥離も発生せず、優れた耐久性を発揮します。



対応製品 全製品対応

亀裂追従性

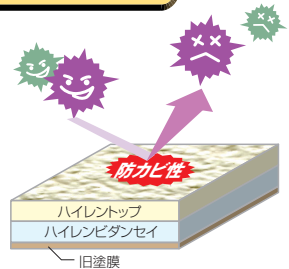
低温から高温まで幅広い範囲でコンクリート躯体・モルタル下地等に発生する亀裂や変形に追従し、漏水のない美しい外観を永く保ちます。



対応製品 ハイレンビダンセイ

防カビ性

優れた防カビ性を備えており、長期にわたり美しい外観を維持するとともに、カビによる健康への悪影響も防ぎます。



対応製品 全ハイレントップ

弱溶剤

臭気が穏やかで環境に配慮したターベン可溶性塗料です。オールシーズンタイプですが、特に水性塗料が使えない冬の施工に最適です。



対応製品 ハイレントップTU / ハイレントップTS

水性

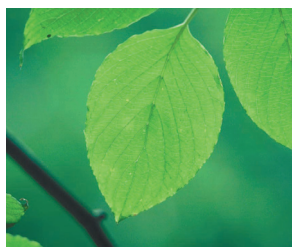
溶媒に水を採用し、人や環境に配慮した塗料です。刺激臭も無く、近隣への影響も少なく居住中でも改修に用いることができる塗料です。近年、シックハウス症候群等で社会問題となっているTXを含みません。



対応製品 ハイレントップGU

安全性

シックハウス症候群の原因となるホルムアルデヒドを含んでおりません。また、鉛・クロム等の重金属も使用しておらず、安全な作業環境と居住空間を提供します。



対応製品 全製品対応

カラーバリエーション

日本塗料工業会の塗料用標準色見本に準拠し、多彩なカラーバリエーションをご用意しました。ご注文の際にお問い合わせください。



対応製品 全ハイレントップ

【注意事項】

塗装上の注意

- 気温5℃以下、湿度85%以上の場合は、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・結露の恐れのある場合は、塗装を避けてください。
- 使用前に十分かくはんし、内容物を均一にしてから塗装してください。
芳香族系溶剤などで希釈しますと旧塗膜を侵す場合がありますのでご注意ください。
- 過剰の希釈は、乾燥が遅れ、たるみを生じますのでご注意ください。
- エアレス塗装の場合、ミスト汚染防止には、十分配慮してください。
- 使用後の塗装器具は、できるだけ早く塗料用シンナーで洗浄してください。

取り扱い上の注意

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸引すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないように必ず保護具を着用してください。
- 取り扱い作業所には、局所換気装置を設けてください。
- 取り扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがめ・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 臭いは、食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるまたは、養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から出し入れするときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診断を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ時には、直ちに医師の診断を受けてください。
- 取り扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密閉し、40℃以下で子供の手の届かない場所を定めて保管してください。
特に下記場所の保管は避けてください。
・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要などときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。

全国防水改修工事業団体連合会

北海道防水改修事業センター	北陸防水改修事業センター
東北防水改修工事協同組合	関西防水管理事業協同組合
関東防水管理事業協同組合	中国防水改修事業センター
東海防水改修工事協同組合	九州防水改修工事協同組合

田島ルーフィング株式会社

<https://www.tajima.jp>

東京支店	〒101-8579	千代田区外神田4-14-1	TEL 03-6837-8888
大阪支店	〒550-0003	大阪市西区京町堀1-10-5	TEL 06-6443-0431
札幌営業所	〒060-0042	札幌市中央区大通西6-2-6	TEL 011-221-4014
仙台営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央1-6-35	TEL 022-261-3628
北関東営業所	〒330-0801	さいたま市大宮区土手町1-49-8	TEL 048-641-5590
千葉営業所	〒260-0032	千葉市中央区登戸1-26-1	TEL 043-244-3711
横浜営業所	〒231-0012	横浜市中区相生町6-113	TEL 045-651-5245
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町1-12-20	TEL 042-503-9111
金沢営業所	〒920-0025	金沢市駅西本町1-14-29	TEL 076-233-1030
名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄1-9-16	TEL 052-220-0933
広島営業所	〒730-0029	広島市中区三川町2-10	TEL 082-545-7866
福岡営業所	〒810-0041	福岡市中央区大名2-4-35	TEL 092-724-8111